

平成 23 年第 6 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 23 年 6 月 23 日（木） 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 16 時 00 分
3. 開催場所 加西市庁舎 5 階（大）会議室
4. 出席委員 委 員 長 荒 木 貴 子
委 員 竹 本 武 志
委 員 渡 邊 隆 信
教 育 長 吉 田 廣

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名
教育次長 大 西 司
事務局参事 塩 見 善 則
学校教育課長 小 林 剛
こども未来課長 前 田 晃
こども未来課主幹 後 藤 則 子
自己実現サポート課長 立 花 聡
総合教育センター副所長 柿 本 博 司
教育総務課長 深 田 秀 一
教育総務課主幹 中 倉 建 男
教育総務課課長補佐 千 石 剛

6. 付議事項

議案第 33 号 平成 22 年度教育委員会点検評価について

議案第 34 号 加西市社会教育委員の委嘱について

議案第 35 号 加西市公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する
規則の制定について

議案第 36 号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 33 号 平成 22 年度教育委員会点検評価について

教育総務課長より、議案第 33 号 平成 22 年度加西市教育委員会点検評価について、評価委員会における審議を行うため、教育委員会による評価を別紙のとおりとすることにつき、委員会の議決を求めるもので、前回、指摘された課題を追加し、それぞれの教育委員から出された意見を集約し、また、議論し、それらを新たに教育委員会のコメントとして、7 項目についてまとめているので確認していただきたい、と上程する。

教育委員から、事務局も教育委員も、一体となって取り組むべきものであり、それを評価委員に評価してもらうことを念頭に、若干の修正を求められた。

特に、個別には、こども未来課の幼保一体化の取り組みや、自己実現サポート課のネーミングライツの取り組みは、他市より進んでいるとの意見も出され、原案どおり承認される。

議案第 34 号 加西市社会教育委員の委嘱について

自己実現サポート課長より、議案第 34 号 加西市社会教育委員の委嘱について、社会教育委員の任期満了に伴い、加西市社会教育委員に関する条例第 2 条及び第 3 条の規定により、次の者に社会教育委員を委嘱したいので、委員会の議決を求めるもので、任期については、平成 23 年 7 月 22 日～平成 25 年 7 月 21 日までの二年間、委嘱する者は、9 名。

今回、衣笠委員長の退任に伴い、後任に、姫路独協大学教授の田中ゆきたね氏を推薦したい。簡単に田中教授のプロフィールを紹介すると、年齢は 64 歳。現在、教育学を専攻されており、特に、幼児・児童教育学を専門とされ、同時に、社会教育分野においても、非常に見識をもたれております。職歴は、兵庫教育大学教授、兵庫教育大学附属小学校長を歴任されています。加西市においても、子育て支援対策など、いろいろな分野で指導していただいた経緯があり、人格も温厚で、これからの加西市が抱えている幼稚園・保育所の問題、社会教育の諸課題等に取り組んでいただける方で、適任であると提案説明をする。

教育委員からも、同氏は、特に、教育学の中でも教育社会学の領域専門家で、学校教育だけでなく、家庭教育・社会教育を含め広く教育を考えていただけるのにふさわしい方である、との補足説明がある。

教育委員より、年齢層は、どのような構成になっているかと質問され、30 代から 70 代の幅広い年齢層になっていると、回答する。

また、再任について質問され、規定上は再任を妨げない、と回答する。

最後に、教育委員から、長い目を見て、社会教育委員が一度に大きく入れ替わらないような配慮が必要であると要望され、原案どおり承認される。

議案第 35 号 加西市公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

自己実現サポート課長より、議案第 35 号 加西市公民館の設置及び管理に関する条例施行規則を改正したいので、委員会の議決を求めるもので、改正理由は北はりま消防組合の設立に伴い、市公共施設を使用する際の減免取扱いを統一するためのもので、規則の概要については、第 12 条第 1 項第 1 号中「加西市が主催する」を「加西市又は加西市が加入する一部事務組合が主催する」に改め、同項第 4 号中「加西市が共催する」を「加西市又は加西市が加入する一部事務組合が共催する」に改めます。消防本部が組織替えにより北はりま消防組合になりましたので、それに伴う規則改正であるとの提案説明をおこなう。

教育委員から、現在のところ「北はりま消防組合の設立に伴う」とありますので、「加西市が加入する一部事務組合」とは、北はりま消防組合のみを指しているのですか、と質問され、自己実現サポート課長が、そのとおりです、と回答し、原案どおり承認される。

議案第 36 号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

学校教育課長より、議案第 36 号 加西市心身障害児就学指導委員会規則第 2 条の規定により、加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について、委員会の議決を求めるもので、1 号委員は、医師、特別支援学校医、精神科医等から 2 名、2 号委員は、関係教育機関職員で今回は中学校代表校長 1 名と各中学校校区の代表校長と特別支援学校長と教頭。3 号委員は、関係行政機関職員で、中央こども家庭センター育成支援課長。4 号委員は、こども未来課長と学校教育課長で、以上についての委員の委嘱を求めるもので、議決されますと、7 月 1 日に委嘱状を発令し、11 月 2 日予備審査、11 月 9 日本審査を経て県のほうへ最終申請いたします、と提案説明をする。

教育長より、どのような活動をしているのかを説明するように指示があり、学校教育課長が、特別な支援を要する児童が年々増えている。価値観や生活の多様化からいろいろなこどもたちが増えている傾向にあります。また、県に申請を出して、障害種別ごと学級を開設しています。

参考に、昨年度は、122 名が予備審査にあがっています。本審査で 33 名のうち、最終的には、県への申請を 8 名行い、それぞれ学級が認定されました。平成 23 年度新設の学級数は 5 学級となっています、と回答する。

また、委員の職務ですが、特別支援学校に行くか、それ以外の学校で学ぶのかを考えるのですか、との質問に、教育次長が、一人ひとりのこどもが特別支援学校・特別支援学級・通常の学級のどこで学ぶのが、この先自立や成長を考えたとき、その子にとって一番適しているか、いろいろな委員さんで、いろいろな立場から考えていただきます、と回答する。

さらに、特別な支援を要するこどもたちの保護者の意見と委員会での結果が合わないことはないですか、との質問に、教育次長が、就学指導委員会として、そのこどもにとって、一番いいと思われる結論を出して、学校に戻し、保護者とも検討する中で結果として、保護者の願いと食い違いがあれば、最終的には保護者の意思が最終決定となります、と回答し、原案どおり承認される。

9. 議決事項

議案第 33 号 平成 22 年度教育委員会点検評価について

原案どおり可決

議案第 34 号 加西市社会教育委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第 35 号 加西市公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

原案どおり可決

議案第 36 号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育委員長の報告

教育委員長より、兵庫県女性教育委員の会総会及び研修会について、平成 23 年 6 月 14 日（火）に篠山市において開催され、県下各市町における女性委員数などの現状、研修概要として分科会における意見交換や講演会などに関する報告をする。

(2) 教育長の報告

教育長より、播磨東教育事務所の新任管理職研修における所感、不登校の対策、兵庫教育大学の日渡教授と進める学力向上プロジェクト、市内で取り組んでいる特色ある教育活動の概要、エンドレスによる東日本大震災支援活動、中学校を含む完全給食に向けた現状、及び最近の学校事情として児童生徒の怪我や教職員の事故などについて報告する。また、小林学校教育課長より、市内の花業者やフラワーセンターから各学校へ花木の寄付があったことを追加報告する。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、宇仁小学校地震改築工事設計委託業務の補正予算計上において、前回は、23年度と24年度の基本設計委託費だけであったが、今回は、基本設計・実施設計・工事監理委託費を一括して予算要求を行い、平成24年12月に工事着手し、平成26年1月より、宇仁小学校の児童が、新校舎で勉強できるように、前回より前倒しの計画にした、と説明する。

また、平成23年度播磨東地区教育委員会連合会総会及び研修会の開催については、加西市が幹事市となっており、7月14日（木）13時30分よりアオノスポーツホテルで開催する。当日は総務委員会と重なっており、職員が手分けして出席することになる。

教育委員長には、総会の冒頭にあいさつをお願いしたい、他の教育委員さんも都合をつけて是非、参加していただきたい、と案内する。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、6月6日～10日にかけて実施した、トライやる・ウィークの結果については、市内162箇所の事業所で受け入れていただき、中学校2年生467名の内459名が参加した。全日の欠席者は8名であった。

推進協議会の方も、地域に入られ情報を収集され、その報告会も開催された。また、6月10日の神戸新聞に、子供たちが夢に向かってがんばっている姿が掲載され、非常に有意義であった、と報告する。

(5) 自己実現サポート課長の報告

自己実現サポート課長より、加西市文化祭は、10月23日～11月24日の1ヶ月に渡り、文化連盟と教育委員会が合同で実施する。参加者は、毎年4,000名程度で、今年は45回目の区切りの年であるため、文芸祭をリニューアルし、学校等へ作品の応募をお願いする予定にしている。

また、社会体育施設使用料金の改定答申は、グリーンスポーツ広場の使用料金を、平成23年2月の公共料金問題審議会において審議され、グラウンド使用料を1時間当たり300円にする。なお、照明と更衣室の使用料については、現行どおりとの説明を行う。

5. 協議事項

(1) 報告事項の中から

- アクアス加西の料金値上げによる利用状況の変化について

教育委員より、アクアス加西の料金値上がりにより、利用頻度は、変わらないか、との質問に、自己実現サポート課長が、若干の減が見込まれますが、利用料金としては、妥当であると思われます、と回答し了解を得る。

○ 不登校対策について

教育委員より、不登校研究協議会はどのような構成ですか、との質問に、総合教育センター副所長が、各小・中学校の生徒指導の担当教諭や社会福祉課の担当者等で構成しています。年3回開催し、不登校対応策の検討を行っていきます、去年小学校の不登校出現率は、過去5年間では最低値で、中学校は最高値でした。不登校の背景として、様々な要因がありますが、家庭・学校・地域がスクラムを組んで、個々に対応を行っていきたいと思います。また、昨年度学校へ不登校マニュアルを配布しており、その中の項目で再度点検を行っていきます、と回答し、了解を得る。

○ 宇仁小学校改築工事日程について

教育委員より、宇仁小学校の日程が少し早くなったと聞いたのですが、大震災の影響による財源はどうでしょうか、との質問に、教育総務課主幹が、補助金の額について特別加算の見込みはなく、通常どおりの枠になると思われます、と回答する。

○ 加西元気アップ事業について

教育委員より、単位を決めて取り組まれているとのことですが、その単位に根拠はあるのですか、との質問に、自己実現サポート課長より、とくに根拠はなく、あくまで目安です、と回答する。

○ トライやる・ウィークの受入れ事業所について

教育委員より、例年、受入れ先の事業所を見つけにくいようですが、今年度は増えています。特に理由がありますか、との質問に、学校教育課長が、PTA等で協力していただいているところです、と回答する。

12. 教育委員の提案について

教育委員より、泉小学校ではゆとりを持って仕事を行うために、ノー会議デーを行っています。また、西在田小学校では業務の効率化を図るため、委員会を作っています。先生の仕事が増えている中、ある程度合理化できるところは、行っていった方が良いと思うのですが、これは学校全体としての取り組みの一環でしょうか、との質問に、学校教育課長が、学校は

非常に多種に及ぶ超過勤務があり、県が実態調査を行いました。学校業務改善事業を立ち上げ、加西市も指定されています。その中で、西在田小学校と加西中学校は推進校となっており、その他の学校も実践校で指定されています。年間3回程度会議を行います。管理職を含め強化を図っているところです、と回答し了解される。

13. 今後の予定について

- ・ 平成 23 年度播磨東地区教育委員会連合会総会及び総会
7 月 14 日（木） 13：30～ アオノスポーツホテル
(移動教育委員会)
- ・ 第 7 回定例教育委員会 7 月 27 日（水） 13：30～ 農村環境改善センター
- ・ 第 8 回定例教育委員会 8 月 26 日（金） 13：30～ 5 階（大）会議室

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 23 年 6 月 23 日

出席委員

(出席委員署名)